



# 北海道 国際理解教育研究協議会



# 報 第47号



会長 高橋 承造



事務局長 真木 孝輝



## 研究を深める！

北海道国際理解教育研究協議会  
会長 高橋 承造  
(札幌市立苗穂小学校長)

昭和55年に始まった全道研究大会も、3回の全国大会を含め今年度で第21回となります。

授業をビデオに撮りそれを観て話し合うことから始まった私たちの研究は、常に授業実践を中心に据えたものでした。しかも最近の研究大会では、幼・小・中・高の授業を公開し、学校教育全体を通しての国際理解教育の在り方やつながりまでを視野を入れた研究へと深めて参りました。

今年度の研究主題は、『広く世界に目を開き、未来を切り拓く児童生徒の育成』を掲げ、地球の未来に対して責任のある考えを持ち、行動できる子の育成を目指しております。

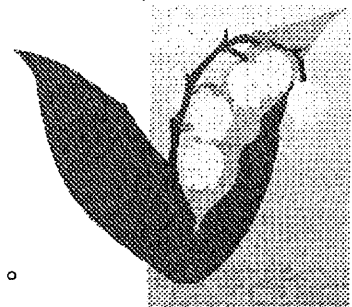
この主題の具現化には、異文化理解を通じた地球市民としての広い視野と深い人類愛を基盤とした問題解決が図られる活動を、子供たちに確実に歩ませることが必要です。さらにその問題解決活動は子供たちの実態からスタートし、子供たちの真の欲求や意欲が満たされる主体的な活動であり、そこから成就感や満足感が保証されるものでなければならぬと考えます。

私たちの研究が求めているこれらの問題解決活動は、平成14年度からはじまる『生きる力』を育む「総合的な学習の時間」の活動と相通じるものであり、「総合的な学習の時間」の授業作りに役立つと同時に、新しい教育に対応するために教師の意識改革を促すものへと確実に深めていかなければならぬと考えております。

今年度の私どもの研究大会は11月の1日(水)と2日(木)の2日間にわたり、室蘭市にて開催いたすことになっております。胆振国際理解教育研究会の皆様のご努力と関係機関の皆様のご支援により、準備は着々と進んでおります。

全道17地区の皆様のご支援とご協力により、『第21回北海道国際理解教育研究大会室蘭大会』を大成功へ導くとともに、これまでの私たちの研究の成果の深まりを参会者の皆様にお示しし、21世紀へ向けた本協議会のさらなる発展へつなげたいと願っております。

どうぞ会員の皆様のご協力のほどをお願い申し上げます。



平成11年度

# 会 務 報 告

北海道国際理解教育研究協議会

平成11年

- 4, 17 「役員会」一札幌市立苗穂小学校  
・事務局確立
- 23 各地区連絡窓口決定  
各地区へ「会長、事務局長、役員および会員名簿」の送付を依頼
- 5, 2 道教育委員会、市教育委員会、北方圏センター、国際プラザへ高橋会長  
真木事務局長就任挨拶
- ” 北見大会第1次案内の札幌市内の幼・小・中・高への配布
- 15 役員名簿及び役員委嘱状、事務局員委嘱状発送
- 16 北見大会講師アニル・パンガンティ氏に内定する
- 21 「第1回事務局会」一札幌市立苗穂小学校  
・活動方針の確認・事業計画・各部の活動計画・各事業の係と役割分担  
等
- 24 北見大会課題別分科会の研究発表者の各地区への依頼
- 25 第20回全道大会後援依頼発送（道教委、市教委、各種校長会）
- 6, 1 全海研へ第20回全道大会への助成金依頼
- 14 国際プラザ主催の開発教育地域セミナー実行委員会へ真木事務局長参加
- 19 高橋会長と関網走地区会長、20回大会運営について札幌にて協議
- 25 第20回全道大会助言者決定、依頼
- 26 第20回全道大会課題別分科会での研究者確認依頼
- 27 第20回全道大会事務局へ大会助成金発送
- 29 「広報NO,44号」、「平成11年度会員名簿」印刷製本
- ” 広報・名簿・北見大会開催案内・会費納入請求書の会員への発送
- ” 「第2回事務局会」一札幌市立苗穂小学校  
・各部の活動状況・北見大会に向けての取り組み・派遣教員研修会  
・帰国報告会等について
- 30 広報NO,44号、メールにて海外会員に発送
- 7, 4 札幌国際プラザ主催の開発教育地域セミナー実行委員会へ真木事務局長参  
加
- 5 北見大会開催要項への教育長挨拶文、開会式での挨拶依頼のため道教委へ  
（会長、事務局長）
- 9 理事会、研究担当者会、懇親会開催案内の各地区会長への発送
- 12 道教委より挨拶文省略の連絡（関会長へその旨連絡）
- ” 全海研事務局へ北見大会開催助成金申請
- 14 道教委「公報」への第20回全道大会北見大会案内原稿送付
- ” 全海研会長への全道大会開会式での挨拶依頼状発送

- 3 1 札幌国際プラザ主催開発教育地域セミナー実行委員として真木事務局長参加
- 8, 1 札幌国際プラザ主催開発教育地域セミナー分科会にて真木事務局長司会  
4 全海研アンケート調査と道会員名簿を全海研事務局へ発送  
4～5 全国国際理解教育研究大会・理事会（熊本市）へ橋本副会長出席  
全国国際理解教育研究大会・研究担当者会（熊本市）へ中村研究部長出席  
5 ジュニアアートキャンプ交流会開催—真駒内緑小学校  
2 4 「第3回事務局会」—札幌市立苗穂小学校  
・前期の各部の活動・北見大会に向けての取り組み・理事会総会準備  
・帰国報告集編集予定  
2 5 北方圏センター主催のJAIC研修生とのガーデンパーティーに参加  
会長、斉藤庶務部長、沢田会計部長
- 〃 道教委より来年度派遣予定者名簿受領
- 9, 1 6 理事会総会、研究担当者会、懇親会開催  
17～18 「第20回北海道国際理解教育研究大会北見大会」開催  
1 1, 2 4 「第4回事務局会」—札幌市立苗穂小学校  
・派遣教員研修会、帰国報告会、激励会開催について、帰国報告集について、理事会総会について、広報発行  
2 7 実践研究集録発送  
1 2, 1 1 2年度派遣教員入会案内発送  
2 道教委への「派遣教員及び帰国教員研修会」の挨拶と助言依頼発送  
3 道教委後援名義使用承認願発送  
4 入会案内、帰国報告会、派遣教員激励会、激励会、理事会、研究担当者会案内送付  
7 真駒内緑小へ「派遣教員及び帰国教員研修会」の会場借用依頼  
1 3 道教委後援名義使用承認書受領  
2 3 「第5回事務局会」—札幌市立苗穂小学校  
・帰国報告集帳合い作業、派遣教員研修会帰国報告会激励会検討  
2 4 「派遣教員及び帰国教員研修会」での挨拶依頼のため道教委へ（会長）  
1, 1 3 「派遣教員及び帰国教員研修会」前日準備—真駒内緑小学校

# 北海道国際理解教育研究協議会事業計画

## 1, 基本方針

21世紀に生きる北海道の子どもたちに、国際社会に貢献できる日本人としての資質を育成する国際理解教育の在り方を探る。

- ・学校教育における国際理解教育の在り方を、主に授業を通して深める。
- ・新しい教育の流れの中で、国際理解教育の果たすべき役割を探る。
- ・各地区との交流を深め、研究を支える組織の整備を図る。

## 2, 事業内容 [研究団体としての責務を果たす]

- (1) 全道大会を開催、研究の成果を交流する。
- (2) 研究成果の交流のために、「研究集録」や「研究紀要」を発行する。
- (3) 「広報」を発行し、研究の成果や情報を交流する。
- (4) 地区との連携を密にし、組織を強化し、各地区の研究推進の手助けをする。
- (5) 派遣教員と帰国教員に対して、研修会を開催し、それぞれの役割をサポートする。
- (6) 国際理解教育に必要な各種資料を収集（インターネット・Eメールを含む）し、要望に応じて提供する。

## 3, 今年度の重点

- (1) 第21回北海道国際理解教育研究大会胆振大会の成功を図る
  - ・研究団体として会員の資質向上と研究の深化を図る。
  - ・北海道の国際理解教育の普及に努める。
- (2) 地域に密着した各地区の研究の深化と交流を図る
  - ・研究主題を共通の窓口としながら、地区の独自性を発揮した研究を推進する。
  - ・地域、時代の要求を生かした研究を進め、会員の拡充を図る。
  - ・帰国教員の貴重な体験を活用する。
- (3) 総合的な学習の時間における国際理解教育の在り方を探る
  - ・総合的な学習の時間での国際理解教育の在り方を実践研究する。
  - ・各地区の研究大会に参加して、積極的に研究交流を図る。

平成12年度 年間事業計画一覧表

北海道国際理解教育研究協議会

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業予定	・事務局組織 ・事務局引き継ぎ		・広報発行一1 ・名簿作成 ・会費納入依頼	・広報発行一2	・全道大会胆振大会 11月11～2日	・研究集録発行	・派遺教員研修会、帰国教員報告会、激励会 ・帰国報告集	・広報発行一3 ・研究集録配布 ・研究紀要発行				
会長	・道教委等関係機関挨拶		・道教委研究会開催挨拶	・全国大会参加 ・理事会出席			・全道大会理事 会総会挨拶	・道教委へ(帰国報告集実践集)				
会議予定	・役員会(事務局組織)	・第1回事務局会(活動計画)		・役員会(研究会大会構想) ・第2回事務局会(大会準備)	・第3回事務局会(大会準備)		・第4回事務局会(大会反省、研修会激励会準備)	・第5回事務局会(次年度構想)	・第5回事務局会(次年度構想)	・役員会(新年度構想)		
庶務	・役員、事務局員委嘱状送付	・第1回事務局会案内発送	・大会1次案内配布	・大会2次案内配布	・実践資料の収集	・第3回事務局会案内発送	・第4回事務局会案内発送	・第5回事務局会案内発送	・活動の反省と次年度構想			
研究	・研究構想検討 ・道新との打合せ	・大会研究担当者との連携	・大会での研究者依頼	・夏の学習会	・夏の間決り作成	・次期大会との研究打ち合わせ開始	・大会での地区研究交流	・大会研究のまとめ	・研究紀要編集	・研究紀要発行 ・次期大会校との打ち合わせ		
組織	・地区名簿送付依頼	・会員名簿作成	・会員名簿配布	・帰国報告集原稿依頼		・帰国報告集印刷	・帰国報告集編集発行	・帰国報告集配布 ・激励会運営	・活動の反省と次年度構想	・研究集録、研究紀要発送		
広報		・広報編集会議 ・広報原稿依頼	・広報発行一1	・広報編集会議	・広報原稿依頼		・広報発行一2	・広報編集会議	・広報原稿依頼	・広報発行一3		
会計	・徴収簿整理	・会費納入依頼 ・新年度徴収簿作成	・会費徴収	・会費徴収 ・帰国報告集広告依頼		・中間決算	・大会会費集金 ・研究書籍販売 ・領収書送付	・大会会費集金 ・研究書籍販売 ・領収書送付	・会費納入依頼 ・会費納入礼状	・決算報告 ・監査 ・激励会会計	・活動の反省と次年度構想	・活動の反省と次年度構想 ・決算引き継ぎ ・会費納入督促

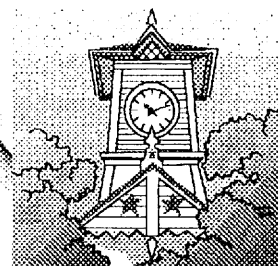
## 【 役 員 名 簿 】

顧問	中山 素水 (道工業大学教授)	副会長	豊田 収 (大成町立大成中学校 校長)
〃	本田 哲也 (初代会長)	〃	橋本フミエ (札幌市立福移小中学校 校長)
〃	木皿 弘勝 (第2代会長)		
〃	千葉 福男 (第3代会長)	監事	樋原 永幸 (釧路市立新川小学校 校長)
〃	磯貝 登 (第4代会長)	〃	谷口 公紀 (恵山町立尻岸内小学校 校長)
〃	大泉 弘 (第5代会長)		
〃	石田 省子 (第6代会長)	理事	遠藤 優 (千歳市立向陽台中学校 校長)
〃	山内 武道 (第7代会長)	〃	笠松 信一 (幕別町立幕別小学校 校長)
		〃	笹川 幸一 (静内町立静内中学校 校長)
会長	高橋 承造 (札幌市立苗穂小学校 校長)	〃	小笠原 雅 (函館市立亀田中学校 校長)
		〃	国安 民雄 (北見市立上常呂小学校 校長)
副会長	南 信義 (士別市立士別南中学校 校長)	〃	神代 正道 (歌登町立歌登中学校 校長)
〃	青山 信一 (別海町立西春別中学校 校長)	〃	須貝 享 (倶知安町立東陵中学校 校長)
〃	鈴木 久司 (小樽市立銭函小学校 校長)	〃	木山 春生 (室蘭市立御前水中学校 校長)
〃	舟崎 征二 (月形町立中和小学校 校長)	〃	白鳥 良保 (幌延町立幌延中学校 校長)

## 【 事 務 局 】

事務局長	真木 孝輝 (札幌市立真栄小学校 教頭)	庶務部長	斉藤 吉文 (札幌市立みどり小学校)
		〃 副部長	岡本 清豪 (小樽市立長橋中学校)
次 長	後藤 宏 (札幌市立創成小学校 教頭)		
〃	渡辺 常彦 (余市町立東中学校 教頭)	広報部長	古里 和雄 (札幌市立手稲西小学校)
〃	中村 一治 (江別市立角山小中学校教頭)	〃 副部長	石塚 信彦 (岩見沢市立幌向小学校)
〃	佐藤 稜子 (三笠市立三笠中学校)		
		会計部長	澤田 崇 (札幌市立篠路小学校)
参 与	一関 庶路 (札幌市立大谷地小学校 校長)	〃 副部長	藤野十志幸 (千歳市立向陽台中学校)
研究部長	中村 淳 (札幌市立月寒小学校)	組織部長	広島 直 (札幌市立みどり小学校)
〃 副部長	広瀬 保志 (札幌市立三角山小学校)	〃 副部長	橋本 直樹 (岩内町立岩内第一中学校)
〃 副部長	山上 昌彦 (室蘭市立知利別小学校)		

# 各地区の活動の様子から



札幌国際理解教育研究会は、5月17日（土）に、第1回研修会として帰国者報告会を開催した。これは、札幌国際理解教育研究会の研修会が年3回計画している研修会1回目として実施した。

初夏の陽射しが待ち遠しいくらい肌寒い日が続いていたが、この日は気温が一気に上昇し街でビール一杯がほしい土曜日の午後となった。会場となった札幌市立北九条小学校には、会員・会員外の先生たちが多数ご参加くださり、講師である帰国者の先生の報告に熱心に耳を傾けた。

当初主催者としては2回に分けて報告会を開催する予定であったが4名の方々の同時開催となった。そのため一人あたりに十分な時間を保障することができない会となってしまった。しかし、報告内容は、圧巻といえるほど密度が高く、一人一人の先生の仕事の工夫と努力の充実ぶりがほとぼしるように伝わってきた。2002年から始まる新しい教育改革が、海を越えた学校でも視野に入れられ、授業の工夫と教員の意識改革の厳しさが実感できたからである。また、資料作成に加えてITの活用は現地の様子を体験したかのような臨場感を持たせるのに十分であった。

## ①「アメリカ・シンシナティ日本語補習学校の勤務を終えて」

札幌市立手稲山口小学校 教頭 池田 幸一

補習校の責任者として、学校経営のノウハウをすべてつくりあげてきた。現地採用の先生方とのコミュニケーションの重要性と大変さが入り混じっていた。補習校という学校経営の難しさと様々な課題も語ってくれた。

## ②「スペイン・マドリッド日本人学校の勤務を終えて」

札幌市立手稲西小学校 教諭 古里 和雄

現地理解教育の一環として取り組んでいる2泊3日の宿泊体験学習。言葉の壁を越えた体験と交流が行われている。日本経済の影響が児童生徒の激減という形ですぐに現れる日本人学校の現状。

## ③「アメリカ・グアム日本人学校の勤務を終えて」

札幌市立上野幌小学校 教諭 横川 隆

以前は、アガナ日本人学校という呼び名であったが、昨年帰国した安達校長先生の努力で名前が変わった。アメリカの国であってアメリカではない不思議な所である。

## ④「トルコ・アンカラ日本人学校の勤務を終えて」

札幌市立山鼻中学校 教諭 山本 登志一

第二校歌とも言える学校の歌を作詞・作曲してきた。学校だけでなく日本人会の人々にも親しまれるまでになった。あふれるばかりの感性と独創性で、音楽教育へ日本の琴を取り入れた。次々と新しい曲を生み出しCDに吹き込んでしまった本格音楽を披露した。

文責 札幌国際理解教育研究会  
研修部長 関口 満壽

# 第21回北海道国際理解教育研究大会胆振・室蘭大会

第10回 全国海外子女教育・国際理解教育研究大会北海道ブロック大会

第18回 胆 振 国 際 理 解 教 育 研 究 大 会

## こ 案 内

### 大 会 主 題

世界に目を開き、未来を切り拓く児童生徒の育成

～共生の心を持ち、自ら課題を解決しようとする自己の確立を目指して～

日 時 平成12年11月1日(水)・2日(木)  
場 所 授業会場

ベネディクト幼稚園  
室蘭市立母恋小学校  
室蘭市立御前水中学校  
聖ベネディクト女子高等学校

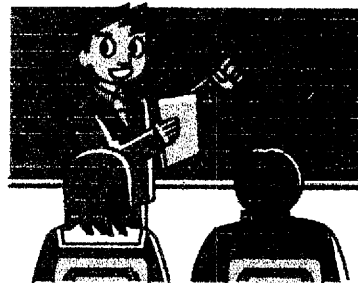
#### 全体会会場

蓬峽殿

協力校

ベネディクト幼稚園  
室蘭市立母恋小学校 室蘭市立朝陽小学校 室蘭市立本室蘭小学校  
室蘭市立御前水中学校 聖ベネディクト女子高等学校

## 公開授業紹介



【幼稚園】 ベネディクト幼稚園

4歳児(年中 すずらん組) 保育者 石谷 則子

- ・子どもたちが日常生活の中で耳にしている英単語を用い、お買い物ごっこを通してお友達との関わりを楽しみながら他の国の言葉への関心を持たせる活動を行う。

4歳児(年中 さくら組) 保育者 山口 智恵

- ・子どもたちがいろいろな国を知り、いくつかの国の中からそれぞれの子どもたちが興味のある国を選択して、その国の特色を探し、国(グループ)ごとに協力し合って製作をしながら友達と関わることの喜びや楽しさを知っていく様子が見られるような活動を行う。

5歳児(年長 ばら組) 保育者 藤澤 直子

- ・ばら組にはガーナからの留学生のお子様1名おります。そのため、子どもたちは外国について大変興味を示しております。そこで、今回の国際交流のテーマのもとに、ガーナの子のお母様にクラスに来ていただき、ガーナの国



についてや簡単な言葉を教えていただくことにより、子どもたちがさらに多くの国に興味関心を抱くようになるのではと思います。

【小学校】 室蘭市立母恋小学校

2年生 生活科 授業者 室蘭市立室蘭小学校 中島 知子

- ・低学年の国際理解教育ということで、まだいろいろな体験は少ないけれど、とても柔軟なこの時期に楽しく直接的に体験し、いろいろな意味で偏見や差別意識のない子どもたちに育っていってくれればと願っています。AETの方をお招きし、楽しく歌ったり、遊んだり、ふれあいを重視した授業を考えています。

5年生 総合的な学習 授業者 室蘭市立朝陽小学校 赤川 欣胤

- ・社会科「伝統に生きる工業」を発展させた授業です。北海道の伝統工業「木彫り」に焦点をあて、調べ学習と体験を通して自分たちが住む地域・文化に関心を持たせ、地域の特色を知ることができることをねらっています。

5年生 国語科 授業者 室蘭市立本室蘭小学校 萩原 享

- ・子どもたちは、「楽しく明るいクラス」「みんなでまとめ合い、協力し合うクラス」「最後までがんばるクラス」「考えたことをはっきり言えるクラス」にしたいという願いを持っています。日々、この目標に向かって活動しています。そんな子どもたちの活動を見てください。

【中学校】 室蘭市立御前水中学校

1年生 社会科 授業者 松本 教夫

2, 3年生 国語科 授業者 西原 大

- ・生徒のコミュニケーション能力の育成と幅広い視野を持たせる教育活動を展開している。学年を越えた縦割りの活動を積極的に取り入れている。研究会当日は国語と社会の公開授業と総合的な学習の時間を使った国際理解の活動を予定している。

【高等学校】 聖ベネディクト女子高等学校

2年生 英語科 授業者 飯島 淑江、Robert Bayer

- ・環境問題をテーマにしたディスカッションを通して、英語によるコミュニケーション能力の育成の一端をご覧ください。アメリカ人と日本人教員のT・Tの形式で授業を進めます。

景勝温暖な胆振の大地で未来と明日への架け橋「白鳥大橋」をシンボルとする室蘭市で多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第2次案内は、「大会参加申込書・宿泊申込書」などを添えて8月上旬に発送の予定です。

〈問い合わせ先〉	大会事務局
	登別市立登別温泉中学校 校長 泰地 和幸
	TEL (0143) 84-2069 FAX (0143) 84-2587

平成12(2000)年度

第27回全

国

海外子女教育

研究大会(神奈川大会)

第11回関東ブロック

国際理解教育

## ご 案 内

大会主題 「21世紀を共に生きる地球市民の育成」

期 日 平成12年(2000)年8月3日(木)～4日(金)

会 場 横浜市栄公会堂(開会式など)  
神奈川県立地球市民かながわプラザほか

### 講 演

演題 「新しい国際理解教育の取り組みについて」

東京学芸大学

海外子女教育センター教授

佐藤 群衛氏

### 分科会

- 第1分科会〈海外児童・生徒教育の現状と課題〉
- 第2分科会〈帰国児童・生徒教育の現状と課題〉
- 第3分科会〈外国児童・生徒教育の現状と課題〉
- 第4分科会〈国際理解教育と総合的な学習の時間の取り組み〉
- 第5分科会〈地域の国際化と地球市民育成への取り組み〉

### 大会事務局

横浜市立平戸中学校 田中 光一

TEL (045)823-8272 FAX (045)826-3991

神奈川県国際理解教育研究協議会 URL <http://www.asahi-net.or.jp/~pd3y-sn/>

# 会費納入のお願い

日頃より本会の活動につきまして、深いご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

本会は皆様の会費によって運営されております。会費は全道大会の運営と研究推進、会の円滑な運営、推進のため、お手数でも滞りなく納入いただきますようお願い申し上げます。

なお、納入状況等につきましての照会は、事務局会計澤田崇までお願い申し上げます。

〈照会先〉

事務局会計 澤田 崇 (札幌市立篠路小学校)

TEL 011-771-2221 FAX 011-771-1290

## 北海道国際理解教育研究協議会 年会費 3000円

郵便振り込みにてお願いいたします。

振込先 澤田 崇

口座番号 02750-4-3409

通信欄には、

氏名、支払い年度、おわかりでしたら会員番号もお書きいただくと幸いです。

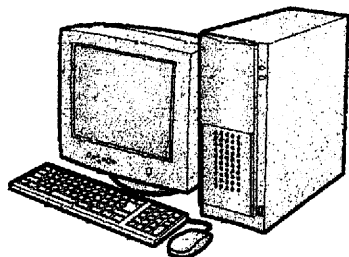
ご意見・ご感想・情報をお寄せください

国際理解メールポスト アドレス

[kokusai-spok@col.hi-ho.ne.jp](mailto:kokusai-spok@col.hi-ho.ne.jp)

道内、国内、海外を問わず情報を事務局までお寄せください。また広報についてのご意見、ご感想もお待ちしております。

各地区における活動状況、実践報告、研究推進、各国の情報等を文書と画像も添付してお送りください。変換後、順次、広報に掲載して参ります。たくさんの情報をお待ちしております。



発行 北海道国際理解教育研究協議会広報部

会長 高橋 承造 (札幌市立苗穂小学校校長)

事務局長 真木 孝輝 (札幌市立真栄小学校教頭)

広報部長 古里 和雄 (札幌市立手稲西小学校)